

## 2019 年度日本バングラデシュ協会事業報告書

1. 本協会発足以来、堀口会長の指導のお陰で順調に日バ両国の友好親善、相互理解の増進を目標として、協会の基盤整備、協会の活動の充実とともに認知度の向上に努めてきた結果、大きな成果を挙げて今日に至っている。しかし 19 年度が始まってすぐ、皆様にもお知らせしたように、堀口会長が健康上の問題で会長を降りられ、僭越ながら大橋が一年間を限りに引き受けることになった。しかし堀口会長は、その後も理事・相談役として本会への貢献を続けてくださった。加えて 7 月には、元丸紅会長の朝田照夫氏を、本会の名誉会長に迎えることが出来た。そうした結果、本会は昨年度も無事発展を続けることが出来た。なお残念なことは、本会の特別顧問を三年間余り務めてくださったラバブ・ファティマ在京バングラデシュ大使が、昨年 11 月にニューヨークの国連大使に栄転されたことである。しかし、ファティマ大使とその前任モメン大使と続けて、日本の大使から国連大使になられたことは、誇りに思えることだ。
2. 本会設立以来 6 年目の 2019 年度、本協会は成長目覚ましいバングラデシュの諸分野の紹介及び啓発のため、4 回の講演会、3 回の企業情報交換会を行い、1 つのイベントを共催した。また毎月 1 回、内容が充実したメール・マガジンを発行した。4 回目の企業情報交換会は、残念ながら新型コロナウイルス流行のために中止した。なおこれまで実施した講演会の多くを、伊藤監事のお骨折りによる会員向けにビデオで公開することもできた。
3. 本協会の会員数は、2019 年度末で個人会員は昨年度末と同じ 136 名(うち学生会員 10 名)に留まったが、法人会員は昨年度に続いて目覚ましく増加し、3 割弱 11 法人の増加で 50 法人(うち非営利法人会員 6 法人)となった。これは本協会会員である先行企業の代表から、新規にバングラデシュ進出を検討している、もしくは進出したばかりの企業に対し、現地で直面した、あるいは今後遭遇するだろうビジネス上の諸問題について対応経験や、治安情報などの関連情報をシェアするための「企業情報交換会」が大きく貢献しており、年 3 回の情報交換会の開催準備に多大の貢献をされている丸久株式会社とその社長でもある平石理事に、この場を借りてお礼 申し上げる。
4. 2016 年 7 月 1 日のダッカ・テロ事件の後、外務省の渡航者情報におけるバングラデシュの危険度が 2 に引き上げられ、日バ間を往復する関係者にとり大きな障害となっていたが、19 年 10 月になって最近になって、ダッカ市とチッタゴン市などを除いて、レベル 1 に引き下げられた。これで大都市以外に拠点がある法人や個人は、少し楽にはなった。
5. バングラデシュの危険度が引き下げられてから僅か 5 か月後の 3 月には、新型コロナウイルスの感染がバングラデシュでも徐々に広がり始め、バングラデシュ政府は空

港での検疫強化や国際線の停止、国内での地域の閉鎖や市場の停止などを始めており、今後の予断を許さない状況が続いている。感染対策としては必要だが、日々の労働賃金や稼ぎで暮らしていた貧しい人々やその家族に、大きな経済的負担が生じている。また都市スラムの住民、そしてキャンプに暮らすロヒンギヤの人々に、この感染が広がり、悲惨な事態に陥ることが危惧される。

6. 今後個人会員及び企業会員をさらに増やしていくために、本協会が会員や潜在的会員層に対する有用性を高めることが重要である。そのためには、バングラデシュに関する外部からの本会への照会などに、敏速に応え得るような体制を整えることが不可欠であり、早急に実現すべく引き続き取り組んでいきたい。
7. 4年前より開始した月例の「事務執行定例会」は合計 9 回開催され、協会運営の迅速化に大いに寄与している
8. 一昨年の総会で報告した賛助会員制度は、昨年度にバングラデシュ人の賛助会員としての入会勧誘が開始したが、年度末の時点で個人賛助会員0名、法人賛助会員2社に留まっており、今後の課題となっている。会員の皆様におかれてもこれと思われるバングラデシュ人の知り合いがいたら、賛助会員としての入会を勧めていただきたい。
9. 理事会は計 4 回開催され、協会運営に係わる諸事項について担当理事を定めて管掌し、理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保しつつ、その他一般社団法人の業務の適正を確保するための体制を保ち、業務を適正に実施した。このためには事務局の役割が重要であったが、この責任者を長く務められた河合事務局長が残念ながら健康上の理由から今期で退任されます。河合事務局長には、本会として深く御礼を申し上げたい。
10. 2019 年度の決算の詳細は別途報告するが、活動の必要性から 20 万円の赤字予算を組み込み、メルマガ抜粋版の印刷等の予算を大きく上回る支出があったが、予定外にファティマ前大使などからの寄付があり、結果的には 23 万円の赤字に留めることが出来た。引続き予算管理の適正化を進めて行く。

# 日本 Bangladesh 協会 2019 年度事業一覧表

2020 年 3 月 31 日

## 1. 講演会等協会事業

2019 年

- (1) 5 月 9 日 泉 裕泰 「Bangladesh の可能性」  
駐 Bangladesh 日本国大使
- (2) 7 月 30 日 南出 和余 「1990 年代生まれの若者たち—Bangladesh の社  
神戸女学院大学 准教授、文学博士 変動を背負って—」
- (3) 9 月 26 日 国際開発学会 社会連携委員会講演会 共催  
「Debapriya Bhattacharya 氏に聞く」
- (4) 10 月 2 日 駐 Bangladesh 大使 新旧大使 歓送迎レセプション
- (5) 10 月 9 日 ラバブ・ファティマ大使の講演と歓送会

2020 年

- (6) 1 月 22 日 進藤 康治 「Bangladesh 経済発展の展望と投資機会」  
在 Bangladesh 日本国大使館 経済・開発協力参事官

## 企業情報交換会：

2019 年

- (1) 6 月 12 日 第 12 回企業情報交換会 「Bangladesh の現状に関する議題・情報交換会」  
会場：渋谷勤労福祉会館
- (2) 9 月 18 日 第 13 回企業情報交換会 「Bangladesh の現状に関する議題・情報交換会」  
有志による懇親会  
会場：渋谷勤労福祉会館
- (3) 12 月 11 日 第 14 回企業情報交換会 「なぜ、いま Bangladesh なのか？」  
会場：TKP ガーデンシティ渋谷

2020 年

- (4) 3 月 18 日 第 14 回企業情報交換会 コロナ感染拡大防止の為延期

## 2. メール・マガジンの発行

2019 年

- 第 57 号 (4 月号) 「Bangladesh ・ソフトウェア・エキスポに出席して」  
「Bangladesh で働いて」：プラント・メンテナンス株式会社 村上美代子  
「Unsung Women Nation Builders Awards 2019」：会員 小林博子  
「早川崇は何故、Bangladesh に心血を注いだのか？」(連載) 第 4 回  
— 『心と心の触れあい』— 監事早川鎮、理事太田清和

- 第 58 号 (5 月号) 「第 6 回社員総会、懇親会へのお誘い」  
「現地便り：バングラデシュの方々への健康貢献」 大塚製薬株式会社  
大塚インターナショナル、アジア・アラブ事業部 迫上智博  
「ダカで澄んだ空気を吸えるのはいつ？」：会員だより 三宅博之  
「地方から見たバングラデシュの思い出」(連載その 3) 監事 伊藤隆史
- 第 59 号 (6 月号) 「第 6 回社員総会と懇親会、特にベンガル語科学生との交流」  
「企業便り：病院建築への想い、憧れの建築との出会い」  
伊藤喜三郎研究所 取締役常務執行役員国際事業部長 鈴木光一  
「教育によるバングラデシュ農村の変化ー教育に対する農民の意識変ー」  
(連載その 1)：会員便り 広島大学 准教授 日下部達哉  
「地方から見たバングラデシュの思い出」(連載その 4) 監事 伊藤隆史
- 第 60 号 (6 月特別号) 「バングラデシュの可能性」  
泉裕泰駐バングラデシュ人民共和国特命全権大使講演録
- 第 61 号 (7 月号) 「一日バ協会発足の経緯と会長離任のご挨拶ー」  
「ようこそ、企業情報交換会へ！」 企業部会担当理事 平石公宣  
「教育によるバングラデシュ農村の変化ー教育に対する農民の意識変ー」  
(連載その 2)：会員便り 広島大学 准教授 日下部達哉
- 第 62 号 (8 月号) 「会長就任のご挨拶」 会長 大橋正明  
「現地便り：国際エンゼル協会の沿革と活動 (連載その 1)」  
大国際エンゼル協会代表理事 東村眞里子  
「25 年間にわたりバングラデシュを見つめて (連載その 1)」  
ーロヒンギヤ避難民キャンプの現場からー  
会員便り 在バングラデシュ日本国大使館参事官 進藤康治
- 第 63 号 (9 月号) 「50 周年、50 周年そして 100 周年」 会長 大橋正明  
「名誉会長就任の挨拶」 名誉会長 朝田照男  
「現地便り：国際エンゼル協会の沿革と活動 (連載その 2)」  
大国際エンゼル協会代表理事 東村眞里子  
「25 年間にわたりバングラデシュを見つめて (連載その 2)」  
ー2019/2020 年度バングラデシュ政府予算に関する考察ー  
会員便り 在バングラデシュ日本国大使館参事官 進藤康治
- 第 64 号 (10 月号) 「バングラデシュのジェンダー事情について」 副会長 村山真弓  
「伊藤直樹新大使に訊く」 駐バングラデシュ日本国大使 伊藤直樹  
「現地便り：イシュワルディ EPZ で生き抜く」  
株式会社 東和コーポレーション 池本秀文  
「在バングラデシュ日本国大使館の日本企業支援について」

- 25 年間にわたりバングラデシュをみつめて (連載その 3) -  
 会員便り 在バングラデシュ日本国大使館参事官 進藤康治  
 「Reminiscent of a Bangladesh Born Commoner Living in Japan over Half a Century」  
 理事寄稿 理事 七田央  
 第 65 号 (11 月号) 「ガンジス河の水利問題に関する 9 年ぶりの印バ次官級協議の開催」  
 相談役 堀口松城  
 「The Farewell Message from Ambassador Rabab Fatima」 ファティマ大使  
 「在勤 4 回目のバングラデシュ今昔物語」  
 -25 年間にわたりバングラデシュをみつめて (連載その 4) -  
 会員便り 在バングラデシュ日本国大使館参事官 進藤康治  
 「チッタゴンで想うこと(2)アラカン国～日本人傭兵～ポルトガル～日本人奴隷」  
 理事寄稿 理事 神山秀夫  
 第 66 号 (12 月号) 「バングラデシュのふたりの詩人～シャムシュル・ラーマンと  
 ショヒド・カドリ～」 東京外国語大学准教授 前理事 丹羽京子  
 「マームード元空軍参謀長への叙勲」  
 特別寄稿 駐ブルガリア大使/元駐バングラデシュ大使 渡邊正人  
 「現地便り：ダッカ日本人学校の運動会ー臨時休校から運動会再開まで」  
 ダッカ日本人学校 校長 島村雅彦  
 「会員便り：ダッカ随想」 九州大学特任教授 浅井 孝司
- 2020 年
- 第 67 号 (1 月号) 「バングラデシュ大使の交代と東京オリンピック・パラリンピック」  
 会長 大橋正明  
 特別寄稿 「「ベンガルの友」と呼ばれるバングラデシュ建国の父」  
 ムジブル・ラーマン生誕 100 周年シリーズ No.1 元理事 渡辺一弘  
 「会員便り：エイセフのバングラデシュとの交流 30 年 (連載その 1)」  
 「人生を変えるスタディツアー」アジアキリスト教教育基金事務長 小田哲郎  
 「現地便り：『ダッカ日本人学校の運動会』ー児童生徒たちの感想文集ー」  
 ダッカ日本人学校 校長 島村雅彦
- 第 68 号 (2 月号) 「2015 年の「独立」：元インドの『飛び地』を訪ねて」 副会長 村山真弓  
 「現地便り：「人間開発テレビ」による社会開発ーバングラデシュ国教育テレビ設立支援プロジェクトの経験からー」 JICA 専門家チーム Dy TL  
 一般財団法人 NHK インターナショナル・プロデューサー 上野智之  
 「会員便り：エイセフのバングラデシュとの交流 30 年 (連載その 2)」 「寺子屋を贈る運動」の成果とこれからーアジアキリスト教教育基金事務長小田哲郎  
 「理事寄稿：ハシナ首相によるムジブル・ラーマン生誕 100 周年記念行事」  
 ムジブル・ラーマン生誕 100 周年シリーズ No.2 ー広報担当理事太田清和

- 第 69 号 ( 3 月号) 「インド市民権改正法施行とバングラデシュの関」 相談役 堀口松城  
「特別寄稿：Sheikh Mujibur Rahman: a tribute to a fallen hero」  
ムジブル・ラーマン生誕 100 周年シリーズ No. 3 顧問 Monzurul Huq  
「理事寄稿：ベンガルのムスレム村落社会研究と原忠彦教授の業績」  
(連載その 1) 東京外国語大学教授 理事 外川昌彦  
「理事寄稿：Japan Action Task: ユヌス博士の目指す Social Business  
とは？」 グラミンニューグレナ代表 理事 佐竹右行

### 3. 日本バングラデシュ協会 2019 年度会議一覧表

I 社員総会			
1	第 8 回社員総会・懇親会	2019 年 6 月 8 日	品川カンファレンスセンター
II 第 6 期 理事会			
1	第 1 回理事会	2019 年 4 月 21 日	虎ノ門いきいきプラザ多目的室
2	第 1 回臨時理事会	2019 年 6 月 8 日	品川 TKP カンファレンスセンター
3	第 2 回理事会	2019 年 7 月 17 日	三田いきいきプラザ A 室
4	第 3 回理事会	2019 年 10 月 16 日	三田いきいきプラザ C 室
5	第 4 回理事会	2020 年 1 月 15 日	虎ノ門いきいきプラザ多目的室
6	第 2 回臨時理事会	2020 年 3 月 25 日	電磁的賛否確認
III 第 6 期 事務執行定例会議			
1	第 1 回事務執行定例会議	2019 年 4 月 9 日	三田いきいきプラザ A 室
2	第 2 回事務執行定例会議	2019 年 5 月 23 日	渋谷カフェミヤマ 2 号室
3	第 3 回事務執行定例会議	2019 年 7 月 11 日	聖心女子大学 大橋教授室
4	第 4 回事務執行定例会議	2019 年 8 月 7 日	聖心女子大学 大橋教授室
5	第 5 回事務執行定例会議	2019 年 10 月 4 日	聖心女子大学 大橋教授室
6	第 6 回事務執行定例会議	2019 年 11 月 14 日	聖心女子大学 大橋教授室
7	第 7 回事務執行定例会議	2020 年 1 月 7 日	聖心女子大学 大橋教授室
8	第 8 回事務執行定例会議	2020 年 2 月 14 日	聖心女子大学 大橋教授室
9	第 9 回事務執行定例会議	2020 年 3 月 18 日	聖心女子大学 大橋教授室